

令和 5 年度 第 3 回 全国健康保険協会愛媛支部評議会 議事概要

令和 5 年度愛媛支部第 3 回評議会が開催されました。その概要は以下のとおりです。

開催日時：令和 6 年 1 月 17 日（水）10：00～11：30

開催場所：ホテルマイステイズ松山 3 階 ドゥエミーラ

《議題》

第 1 号議案：令和 6 年度 愛媛支部保険料率について

第 2 号議案：インセンティブ制度における令和 4 年度実績等について

第 3 号議案：令和 6 年度 愛媛支部事業計画（案）について

第 4 号議案：令和 6 年度 愛媛支部保険者機能強化予算（案）について

出席者 大政評議員、武内評議員、竹村評議員、中村評議員、八石評議員、藤田評議員、
森口評議員（五十音順）

事務局より各議題について資料に基づき説明。

評議員からの質疑・意見等は以下のとおり。

1. 令和 6 年度 愛媛支部保険料率について

（学識経験者）

愛媛支部の令和 6 年度保険料率が全国平均 10.00%より高くなった理由はなにか。また改善策は検討しているか。

（事務局）

令和 4 年度の医療給付費を基に算出される、令和 6 年度の医療給付費の見込み額が高いことが主な理由となる。また改善策についても、ジェネリック医薬品の使用促進や健診・保健指導の実施率を高めていくことで医療費適正化につなげていきたい。

（学識経験者）

愛媛の医療費が高い理由は分析できているか。

（事務局）

6 年度の医療給付費の見込み額が全国に比べ一人当たり 2,300 円ほど高いため、料率が高くなっている。

また、全国的な傾向として、東日本より西日本が一人当たり医療給付費が高い傾向にあり、保険料率も西日本が高い傾向にある。理由としては、10 万人当たりの病床数が多く、人口当たりの医師の数も西日本が多いため、医療機関にアクセスしやすい環境があることがあげられる。愛媛県でいうと、地域医療構想会議でも松山医療圏域に医療資源が集中しており、大洲・八幡浜の急性期や重症域の方が松山の医療機関に入院するケースが多いのではないかと推測されており、今後分析をしていく予定である。

(被保険者代表)

愛媛支部保険料率について、10.03%でやむなしの意見である。理由としては、昨年、中小企業でも 1,000 円程度の賃上げはされてきているが、逆に賞与や退職金は減っている傾向にあるように感じられる。つまり、年収ベースでは増加しておらず今後保険料収入が増えていくとは考えにくい。

積みあがっている準備金については、保険料率を下げることに使うのではなく、将来の医療費を削減するための事業に使用し、少しでも長く全国平均保険料率 10.00%を維持していただきたい。

(学識経験者)

愛媛支部保険料率について、10.03%でやむなしの意見である。ただ、医療給付費を削減するための取り組みや分析は進めてもらいたい。特にデータヘルス計画にあるように、県の健康課題や地域性、背景にある生活習慣等を分析し、地域の実状に合わせた改善策を進めていただきたい。

(議長)

賃金の上昇で保険財政が良くなるのではとの意見もあるが、全体ではないが賃金上昇は診療報酬改定にも跳ねかえることも考慮する必要がある。

(議長)

ご発言いただいた評議員のご意見も踏まえ、愛媛支部評議会の意見として、令和 6 年度の愛媛支部保険料率について、10.03%でやむなしということによろしいか。

(評議員一同)

異議なし。

2. インセンティブ制度における令和 4 年度実績等について

(被保険者代表)

社内で健康診断等を担当しており、社員が協会の保健師等から保健指導を受けたことで、翌年の健診結果の数値が良くなった。今後も積極的に進めてもらいたい。

3. 令和 6 年度 愛媛支部事業計画（案）について

(被保険者代表)

会社の事務担当者としては、資格喪失届は電子申請できるが保険証は郵送しなくてはならず、手間だと感じていた。マイナ保険証に変更されることでその事務がなくなることはサービス向上だと感じた。

(学識経験者)

返納金債権の大半が資格喪失に係る債権とあるが、どれくらいあるのか。また、その中には悪質なものもあるのか。

(事務局)

昨年度実績では、おおよそ年間 5,000 万の返納金債権が発生しており、回収率は約 74% 程度となっている。悪質性という点では、退職後も保険証を返納せず使い続けたというケースも中にはあるが、悪質なものが多いという認識はない。しかし、事業所が資格喪失届を遡及して提出したことで、高額な返納金が発生したケースが一定数ある。これらについては年金機構と協力して対策を進めていきたい。

(被保険者代表)

インセンティブ制度の実施及び検証のなかで、「インセンティブが得られるように支部の順位向上に努める」とあるが、インセンティブに取り組むことで、医療費適正化が進むということを理解しながら取り組んでいただきたい。

4. 令和 6 年度 愛媛支部保険者機能強化予算（案）について

(事業主代表)

以前の評議会でもお伝えしたが、愛媛県内 9 つの商工会議所があり、別々の会報を出しているので、すべての会議所に連絡をとるか、愛媛県商工会議所連合会にすべての会議所の会報に掲載したい旨を依頼する必要がある。また、県内全域に掲載するとなると、愛媛県商工会連合会にも依頼する必要がある。

(学識経験者)

テレビ CM については効果的なものにしていただきたい。今の段階で具体的なイメージや内容について計画しているものはあるか。

(事務局)

内容については、私たちにはない視点から効果的な広報を募りたいという観点から企画競争での調達を検討している。

以上